広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史、産業と文化
人情豊かな感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・29平方㌔、人口約７６００人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。

離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業、海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、水産業などで、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

平成23年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。中でも一番のおすすめプログラムは、２００年以上の伝統を誇る「櫂伝馬（かいでんま）体験」です。

また、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験など島をまるごと体験していただけます。

また、民泊登録家庭も１６０軒を超え、約２８０人の受け入れが可能で、島の人々と生活を共にすることで、心とココロの交流が深まります。

さらに、江田島市産の野菜や魚介類を調理し、食べることを通じて新鮮で安全な農作物、魚介類など作業過程を経てできる大切さや人の温かさに触れることができます。

チームビルディングに最適な櫂伝馬体験

農業や食を学ぶ農業体験

島ならではのフェリーでのお別れ

瀬戸内海で船釣り体験

シーカヤック体験

瀬戸内海で船釣り体験　シーカヤック体験

崎上島に２００年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

②シーカヤック（体験人数１２０人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし、環境学習をします。

③農作業体験（体験人数１００人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から、農業の厳しさや食について学習します。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（大巳・櫓崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・江田島

広島港から船で30分
瀬戸内のカキと民泊の島

広島県江田島市は、広島港（広島市）から船で約30分の位置にあります。世界遺産の原爆ドームや宮島から近く、特に宮島から船をチャーターすると約40分で入島することができます。

また、江田島市は橋で本土と接続していますので、陸路で島に入ることも可能です。所要時間は、広島市内から約1時間30分です。

心とココロの交流

民泊体験と家業体験

江田島市では、現在約80軒の受け入れ家庭があり、最大２４０人の受け入れが可能です。

江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく家族の一員としてお迎えしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食べ、団らんを共にすることで、家族の大切さや人の温かさに触れることができます。

また、家業体験では、受け入れ家庭ごとにさまざまな体験内容を用意しています。受け入れ家庭の家業やなりわいであるのおいしさ、食の大切さを学び、カキが自然界で果たしている役割などの環境学習もできます。

オンリーワン体験

江田島市にはオンリーワンが二つあります。一つ目のオンリーワンはカキ打ち体験です。江田島市のカキ生産量は全国第1位を誇っており、全国生産量の約15％を占めています。この体験は江田島市でしか味わえない体験です。カキがどのような作業過程を経てできるのかを学び、カキが自然界で果たしている役割などの環境学習もできます。

もう一つのオンリーワンは、海軍の世界三大兵学校の一つである海上自衛隊（旧海軍兵学校）です。米国のアナポリス、英国のダートマスとともに海軍の世界三大兵学校として、その名をはせました。校内では高校生と同年代の若き特攻隊員たちの遺書などが展示されており、「平和の大切さ」を理解することができます。

島ならではの体験

周囲を海に囲まれている「島」ならではの生活に触れることで、私生活で見失ったものを顧みることができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

皆さまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

家族の大切さや人の温かさを思い出にお別れ

カキ打ち体験

農家での家業体験

瀬戸内海でシーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（大巳・櫓崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

体験・交流型の修学旅行を提案

広島湾ベイエリア・安芸太田町

人情田舎体験
心の豊かさと絆の大切さを学ぶ

広島県の北西部に位置する安芸太田町（あきおおたちょう）は、西中国山地国定公園など豊かな自然環境に囲まれた県内で唯一山地率90％を超える山間の町で、そんな山里が広島市中心部から車でたった45分と近くにあります。昔も今も人々はお互いを思いやり、先祖を敬い、命の大切さを子どもたちに伝えながら暮らしてきました。

広島県内最少人口（６１７５人）でありながら、地域の結束の象徴であるお寺は30以上、神楽団は17団体、消防団活動が盛んなことなどから、人々の「絆」が極めて強い町です。

そんな人情あふれ、絆を大切にする町民宅へ民泊するからこそ、日本が古くから大切にしてきた「互いを思いやること、人と人とが協力しながら生きることの大切さ」を考え、学んでいただくことができます。

受け入れ家庭は現在89軒で１６０人の受け入れが可能です。

（ホームステイ）

民泊体験では、都市部の「島」ならではの生活に触れることで、私生活で見失ったものを顧みることができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

皆さまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

絆や命の大切さを身をもって学ぶ人情田舎民泊体験

太田川でのラフティング

語り部を囲んで平和学習

「過疎化救出」プログラム

さんに会えることを楽しみにしています。さあ皆さん、人情田舎体験のまち安芸太田町へきんさいや！（来て下さいね！）

■人情田舎民泊体験

安全管理教育を徹底的に施されたインストラクターが指導し、約3㌔のコースを全員の協力の下、2時間程度で下ります。決して激流ではない当町のラフティングは、力を合わせて下ることを主目的とし、「教育旅行的素材」としては十分な効果があり、かつ安全性を兼ね備えた教育旅行向けラフティングです。5月26日から6月6日を除く（6月7日が休日の場合、7日も実施不可）。

■おすすめ体験2　安芸太田式平和教育

当町には現在３００人以上の被爆者が生活しています。原爆投下直後の凄惨（せいさん）な状況はもちろんですが、74年にもおよぶ長い人生をどんな思いで生きてこられたか、そしてどんな辛苦に耐え日本の復興を支えてきたのかを、60～80人ごとに車座で意見交換を行いながらの相互意見交換型の講話体験を提案しております。

平和公園で資料館を見学後、町内にお越しいただき、安芸太田式平和教育を受けていただくと教育効果が大変大きいと考えております。

■おすすめ体験3　過疎化救出プログラム

新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」に対応した学校と連携して作成したプログラムです。このプログラムは、①民泊前に当町の概要について事前学習②民泊で町の現状を知る③民泊後に過疎化救出のためのアイデアを考える④そのアイデアに対して当町より「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし、環境学習をします。

③農作業体験（体験人数１００人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から、農業の厳しさや食について学習します。

②シーカヤック（体験人数１２０人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし、環境学習をします。

③農作業体験（体験人数１００人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から、農業の厳しさや食について学習します。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（大巳・櫓崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

世界とつながる〝日本一の田舎〟
にし阿波・そらの郷

その昔、徳島県の都市部に住む人々は、標高の高い当地のことを「そら」と呼びました。そらの郷の夜空には、民家ボタルが星空と一つとなって力強く輝いています。

そらの郷は、四国の中央に位置する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）にあります。「大歩危・祖谷」「吉野川」に代表される自然、歴史文化、伝説や伝承、独特の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であるとともに、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

■ほんもの田舎体験

地域内約１８０軒、同時受け入れ人数約６００人となる、そらの郷の教育旅行民泊家庭は、その多くが山腹の急傾斜地に張り付くように形成される集落に存在し、独特の文化的景観を形成しています。古来より人々は、洪水を繰り返す暴れ川と険しい山並みを暮らしの舞台として生き抜いてきました。厳しい自然との共生から生まれる、山や畑、石積みやコエグロ、家屋などが一体となった独特の風景こそが桃源郷とも称される日本の原風景です。

この魅力ある景観や農林漁業、地域の食などを活用した体験交流の産業化により、訪日外国人誘客に成功しつつある当地は「地方創生の成功事例」とも言われ、2016年、面する深刻な高齢化問題などに対し、共創を生む農林水産大臣より「にし阿波・桃源郷」として「食と農の景勝地」の認定を受けました。また、２０１８年には国連食糧農業機関（ＦＡＯ）より、世界的にも珍しく歴史的かつ現代的重要性と持続可能性を有した「傾斜地農耕システム」であるとして「世界農業遺産（ＧＩＡＨＳ）」にも認定されます。

次の千年へ…地方が直

傾斜地に点在する集落「天空の里」で田舎暮らしを体験

そらの郷の農山村の暮らしに欠かせない「阿波おどり」を体験

厳しい傾斜地農業体験。助け合いで収穫やタマネギなど野菜を収穫し自給的農作業を協働します。収穫した新鮮な野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理。郷土料理、そば打ち、自然の竹から器や箸や台、全てを一から作る流しそうめんなど多彩な家業が待っています。料理を囲み家族団らんで心の交流。〝日本一の田舎〟の厳しさを豊かさに変える暮らしとの出会いから、持続可能な世界を創造する人財育成へと導きます。

全ての民泊家庭やインストラクターは、研修や安全衛生講習を受け、危機管理や安全対策に万全の体制を整えています。

世界が認めるウォータースポーツフィールド

■民泊阿波おどり体験

そらの郷では、集落のにぎわいとして、念仏踊、風流踊の阿波おどりが継承されてきました。農業理、そば打ち、自然の竹楽「民泊阿波おどり」。離村式では輪踊りで再会を誓い門出を祝います。

■吉野川ラフティング

日本三大暴れ川、吉野川は世界クラスのラフティングコース。17年、日本初の世界選手権を開催。荒々しく雄大な流れが山並みを深い渓谷で刻み、厳かで美しい景観を創り上げています。仲間とボートを操り、激流を乗り越え、五感で大自然と対峙（たいじ）します。

一般社団法人　そらの郷
営業時間　平日８：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・松浦までお願いします
〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ1893-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL https://nishi-awa.jp/soranosato/